

令和2年度

事業報告書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

令和2年度事業報告

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団は、京都コンサートホール、地域文化会館（5館）及びロームシアター京都の指定管理者として施設及び京都市交響楽団の運営に当たっております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの財団自主公演で中止やプログラムの変更等を行うこととなりました。

また、京都市から貸館利用の受付の中止、施設の一時休館の指示及び貸館利用のキャンセルが相次ぎ、これまでに経験したことがない厳しい財政状況になるなど、先行きが見通せない1年となりました。

そのような中であっても、各施設において感染拡大防止対策を適切に行いつつ、京都の文化芸術の魅力を様々な方法により発信し、文化芸術による心豊かな社会に資する取組を進めてまいりました。

開館25周年を迎えた京都コンサートホールにおいては、コロナ禍で公演の中止・延期が相次ぎましたが、そのような状況下でも「第24回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」や生誕250年を迎えたベートーヴェンにフィーチャーしたコンサートシリーズを実施するなど、クラシック音楽の素晴らしさを絶やすことなく伝えることに努めました。

地域文化会館においても、地域との関わりを深めるとともに、会館がこれまで培ったノウハウを活かし、地域の文化力の更なる向上に貢献してまいりました。

ロームシアター京都については、令和3年1月にリニューアルから5年を迎え、3月にかけて「ロームシアター京都開館5周年事業」として、これまで培った経験とネットワークを総動員し、特色ある事業を展開しました。

さらに、京都市交響楽団は、令和元年度に策定した「京響ビジョン」に基づき、ビジョンに掲げた「目指す姿」を実現するための5つの戦略の推進に向けた具体的な取組を実施しました。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

I 主催・共催事業〔全44事業62公演5講座〕

(うち中止17事業29公演5講座, 延期13事業12公演)

令和2年度は指定管理期間の2年目として、またホール開館25周年として、文化芸術都市・京都におけるクラシック音楽の拠点である京都コンサートホールは、大ホール、アンサンブルホールムラタの両ホールで様々な事業を企画しました。新型コロナウイルス感染症の影響により多くの公演が中止・延期を余儀なくされましたが、その中でも開催できた公演を通して、本物の芸術を鑑賞できる機会を提供するなど、クラシック音楽専用ホールとしての役割を果たすと同時に、多くの市民が文化芸術を享受する場としての役割も果たしました。

1 京都市交響楽団の更なる飛躍を促進



京都コンサートホールをフランチャイズホールとする京都市交響楽団の出演による優れた演奏会を開催しました。「第24回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」では、指揮に2014年から6年間京都市交響楽団常任首席客演指揮者を務めた高関健、オルガン独奏に国際的活躍を重ねる福本茉莉を迎えて、音楽祭のオープニングに相応しい華やかなプログラムを披露しました。

また、京都市交響楽団のメンバーの活動を支える取組として、「ブランデンブルク協奏曲全曲演奏会Vol.2 ～ケーテンのコンチェルト～」「京都しんぷおにえった」の2公演を制作し共催しました。

2 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供

世界の響きをお届けする海外オーケストラ公演では、『ロンドン交響楽団』及び『ムジカエテルナ』を招聘する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により来日が叶わず、開催中止となりました。開館25周年記念事業として、「合唱と平和」をテーマに企画した関西最大級の合唱祭「Sing for Peace ～KYOTO 2020 コーラス・フェスティバル～」も開催中止となりましたが、142名のリモート合唱による委嘱作品の世界初演をYouTube上で配信し、その模様がテレビや新聞等多くのメディアに取り上げられるなど、大きな注目を集めました。

また、アンサンブルホールムラタにおいては、平成27年度からスタートした海外アーティストによる「北山クラシック倶楽部」シリーズを9公演予定しておりましたが、いずれも中止・延期となりました。

京都コンサートホール開館25周年・ベートーヴェン生誕250年記念事業として予定していた「ベートーヴェンの知られざる世界」の2公演、また、3年にわたるコンサートシリ

ーズである『3つの時代を巡る楽器物語』の第2章「ベートーヴェンとシュトラハイヤー」については海外からのアーティストを変更したうえで開催し、日本人アーティストによる質の高い演奏を聴衆に届けることができました。いずれのコンサートでもチケットが完売するなど注目度の高い公演となりました。



3 日本有数のパイプオルガンの活用

国内最大級のパイプオルガンを活用した「オムロン パイプオルガン コンサートシリーズ」では、話題の奏者を起用した“オルガニスト・エトワール”と、海外で活躍するオルガニストを招いて行う“世界のオルガニスト”の2つの公演を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となりました。

4 ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援

京都市立芸術大学をはじめ関西の音楽大学8大学が集結する「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」は、第10回という節目の年を迎える予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむなく開催中止となりました。

一方、京都市ジュニアオーケストラによる「第16回京都市ジュニアオーケストラコンサート」は、感染拡大防止策を講じて開催することができ、2020年3月まで京都市交響楽団常任首席客演指揮者を務めた下野竜也がタクトをとり、名曲の数々を披露しました。特に、シューマンの《交響曲第4番》では若さと希望に満ちた瑞々しい演奏を聴かせ、万雷の拍手を浴びました。一連の活動を通して、若い演奏家たちに演奏技術の向上や文化芸術を通して相互理解を図る貴重な機会を提供するとともに、一般の方々に未来を担う若い世代の演奏を鑑賞する機会を提供しました。

5 子どもや青少年の創造性を育む事業

家族やクラシック音楽の初心者を対象とした「KCH的クラシック音楽のススメ」や幼稚園児がオルガンに親しむ体験型演奏会「ポジティブオルガン体験講座」など、子どもが音楽に触れるきっかけとなる演奏会を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となりました。

さらに令和元年度から新たにスタートした「Join us (ジョイ・ナス)！～キョウト・ミュージック・アウトリーチ～」では、京都ゆかりの若手音楽家3組が市内の小学校に加え、病

院や老人介護福祉施設等にも生演奏を届ける予定でしたが、1年間の活動延期を決定しました。

6 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催



平日午前11時開演のランチタイムコンサートとして新たにスタートした「京都北山マチネ・シリーズ」では、ピアノ、ハープ、ギターの3公演を開催し、いずれもチケット完売となりました。いま注目のフレッシュな音楽家によるトークと演奏で、音楽をより身近に感じていただける機会を提供しました。また、公募によって出演者を決定する「リレーコンサート」では、京都だけでなく

関東方面からの参加もあり、多彩な演奏を楽しむことができるコンサートとなりました。北山あおいフェスティバルと同時開催し、まちづくりを通じて地域の活性化に貢献しました。

7 賑わい事業の開催

京都コンサートホール1階エントランスホールを活用した賑わい事業として「ニュー・ブランシュKYOTO 2020」（白夜祭）及び「京都コンサートホール ロビーコンサート」を感染拡大防止策として入場制限を設けたうえで開催しました。「ロビーコンサート」では、マリimba、ソプラノ&ギター、チェロといったバラエティ豊かな演奏とプログラムを提供しました。

11月・12月には、北山エリアの賑わいを創出するために、モザイクアートを題材に北山地域の皆様と協働で「北山モザイク」と称したアートプロジェクトを開催し、エントランスホールでは「キャンドルホルダー作り」ワークショップやパフォーマンスを開催しました。



(参考) 京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業数	38事業	46事業	37事業	44事業
公演数	41公演	50公演	42公演	62公演
講座数	4講座	4講座	10講座	5講座

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度はうち中止2事業3公演、令和2年度はうち中止17事業29公演5講座、延期13事業12公演。

8 音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会など11事業を支援しました。

(参考) 令和2年度 京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度による支援実績

事業名	事業日	主催者
立命館大学交響楽団 第124回定期演奏会 リハーサル	12月8日(火) 大ホール	立命館大学交響楽団
京都橘大学吹奏楽部 第19回定期演奏会 リハーサル	12月16日(水) 大ホール	京都橘大学吹奏楽部
立命館大学交響楽団 第124回定期演奏会	12月17日(木) 大ホール	立命館大学交響楽団
京都橘大学吹奏楽部 第19回定期演奏会 リハーサル	12月22日(火) 大ホール	京都橘大学吹奏楽部
京都橘大学吹奏楽部 第19回定期演奏会	12月23日(水) 大ホール	京都橘大学吹奏楽部
第9回 京都両洋高等学校吹奏楽部 定期演奏会	3月16日(火) 大ホール	京都両洋高等学校吹奏楽部
第31回 京都文教中学高等学校吹奏 楽部 定期演奏会	3月17日(水) 大ホール	京都文教中学高等学校 吹奏楽部
京都明德高等学校吹奏楽部 第23回定期演奏会 リハーサル	3月18日(木) 大ホール	京都明德高等学校吹奏楽部
京都明德高等学校吹奏楽部 第23回定期演奏会	3月19日(金) 大ホール	京都明德高等学校吹奏楽部
大谷中学高等学校吹奏楽部 定期演奏会	3月23日(火) 大ホール	大谷中学高等学校吹奏楽部
京都市立修学院中学校吹奏楽部 定期演奏会	3月24日(水) 大ホール	京都市立修学院中学校 吹奏楽部
京都精華学園高等学校吹奏楽部 第34回定期演奏会	3月25日(木) 大ホール	京都精華学園高等学校 吹奏楽部
京都市立上京中学校吹奏楽部 第37回定期演奏会	3月29日(月) 大ホール	京都市立上京中学校 吹奏楽部
第27回 京都府立北稜高等学校吹奏 楽部 定期演奏会	3月30日(火) 大ホール	京都府立北稜高等学校 吹奏楽部
龍谷大学付属平安高等学校・中学校吹奏 楽部 創部95周年記念第25回定期演奏	3月31日(水) 大ホール	龍谷大学付属平安高等学校・ 中学校吹奏楽部

※このほか、新型コロナウイルス感染症の影響に伴うキャンセル3件。

II 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

京都コンサートホールにおいては、「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を十分に果たすとともに、若い芸術家たちの憧れの舞台となることを目指し、市民の芸術文化振興の拠点となるよう、営業活動を積極的に行うなど利用の促進に努めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業の中止等が生じ、利用日数や利用料金収入の実績にかなりの影響が出ています。

そうした中、文化芸術の創造・発信拠点として当施設が担っている役割を果たしていくことで、文化芸術都市・京都のまち全体の発展に引き続き寄与していくことが重要であるという考えのもと、新型コロナウイルス感染拡大防止によるホールの利用について「施設のご利用についてのガイドライン」を策定・改定し、感染症の状況や特徴を踏まえた具体的な利用上の注意点を示す等により、感染拡大防止に努めながら催しが開催できるよう工夫しました。また、場内サービス、各種設備の運転等についても、感染症の状況を踏まえた運用の見直し等を行ったほか、検温機器の導入やアクリル板等の設置、ロビーにおける椅子の配置の見直し等も行い、安全、安心で快適な劇場空間の提供に引き続き努めました。

さらに、コロナ禍で練習場所や舞台づくり、会場設営などで悩んでおられる音楽団体の方々を支援するため、大ホールを通常利用料金より割引した金額で利用できる「リハーサル支援制度」を新設し、リハーサルやインターネット配信など17件の利用がありました。

実績1 利用料金収入額

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ホール料金収入額	203,167千円	215,182千円	183,729千円	85,429千円
駐車場利用収入額	18,199千円	17,956千円	14,858千円	6,912千円
計	221,366千円	233,138千円	198,587千円	92,341千円

実績2 入場者数

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入場者数の目標値	300,000名	325,000名	290,000名	296,000名
入場者数の実績値	299,450名	295,466名	264,658名	48,209名
目標達成度	99.8%	90.9%	91.2%	16.2%

実績3 日数利用率

大ホール

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用率（日数）の目標値	70%	70%	68%	67%
利用率（日数）の実績値	66%	69%	61%	40%
目標達成度	94.3%	98.6%	88.2%	59.7%

アンサンブルホールムラタ

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用率（日数）の目標値	57 %	58 %	60 %	62 %
利用率（日数）の実績値	58 %	61 %	57 %	28 %
目 標 達 成 度	101.8 %	105.2 %	95.0 %	41.7 %

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成21年度からCS（顧客満足度向上）委員会やホールレセプション会議を毎月開催し、施設の管理運営における問題点の改善や利用者のサービス向上に努めました。

特にCS委員会においては、施設で働く各部門の従事者の代表が参加し、利用ニーズの把握、要望の検証等を行い、「利用者が望むものは何か」を常に考え、利用者の期待の応える接客・応対について協議してまいりました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置

平成23年11月から実施している「理事長への手紙」を引き続き実施し、手紙をいただいた皆様からの貴重なご意見を参考にサービス向上に努めました。

また、施設の利用に関する要望・提案をお伺いするため、「お客様ご意見箱」を設置し、さらなるサービス向上に努めました。

また、京都コンサートホール・ロームシアター京都の施設をご利用いただいた皆様には、後日、アンケートを兼ねたお礼状（サンキューレター）を送付し、リピーターの確保及び利用者ニーズの把握に努めました。

(3) 京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでいただくため、「鑑賞マナーリーフレット」の配布や館内に鑑賞マナー向上を啓発するポスターを掲出して、京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるコンサートづくりに努めました。

(4) 施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から25年が経過したことで、施設・設備の経年劣化が進んでいるため、財団としてもより一層施設等の修繕に力を入れ、安全面や利用者の快適性を視野に入れた改善に取り組んでまいりました。所有者である京都市による施設・設備の改修及び修繕のほか、財団においても京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

また、京都市による劣化調査の結果を踏まえ、大規模修繕へ向けて引き続き計画的対応を提案してまいります。

(参考) 主な修繕事例 (財団実施分)

修 繕 内 容
ピアノ弦張替修繕
アプローチ土間タイル修繕
大ホール身障者席電源コンセント取付
アプローチプランター植栽植替

(5) 施設管理体制の更なる強化

利用者、観客等の安全確保を最優先に考え、令和2年度は、平成29年度に実施した公演中の地震・火災発生を想定した「避難訓練コンサート」の経験を活かし、より一層緻密な「防火・防災訓練」を行い、職員の危機管理意識の更なる向上に努めました。

3 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

(1) 主催事業ラインアップ・リーフレットの発行

年間の主催事業ラインアップを事業のシリーズ毎に分類して紹介するレイアウトで構成し、発行しました。

(2) 催物カレンダーの発行

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業、それらに関するコラムのほか、京都コンサートホールで開催される最新の催物情報を掲載したコンサートガイドを毎月発行し、催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。



(3) ホームページ等の充実

WEBアクセシビリティ向上のため、共通メニューの改修やお客様が目的の公演チケットをスムーズに購入出来るように購入画面への遷移を的確にする改修を行いました。また、貸館の利用率増加を目指し、初めてのお客様でも分かりやすいようQ&Aを設置するなど、貸館説明のページを拡充しました。さらに、開館25周年を記念して「特設サイト」を開設し、改めて京都コンサートホールの歴史や魅力を振り返るとともに、開館25周年記念事業を紹介しました。

引き続き、インターネットの利点を最大限に活かし、常に新鮮な情報を発信するため、Facebook・Twitter公式アカウント、公式ブログやYouTubeを活用し、効果的な情報提供を行うとともに、さらに魅力あるホームページとなるよう、充実を図ってまいります。

(参考) ホームページ月平均アクセス件数

会館名	令和元年度	令和2年度	令和2年度 －令和元年度
京都コンサートホール	97,449件	61,727件	-35,722件
ロームシアター京都	258,478件	226,006件	-32,472件
東部文化会館	12,630件	8,359件	-4,271件
呉竹文化センター	17,727件	11,810件	-5,917件
西文化会館ウエスティ	11,820件	8,007件	-3,813件
北文化会館	19,199件	14,280件	-4,919件
右京ふれあい文化会館	16,277件	10,976件	-5,301件
京都市交響楽団	98,279件	115,735件	17,456件

(4) チケット票券管理システムの効果的な運用

京都コンサートホールとロームシアター京都で開催する催しのチケットが相互で購入できるサービスや、インターネットからのチケット購入において各施設の窓口で引き取れるなど、引き続き利便性の向上に取り組みました。

(5) 貸館利用者のチケット販売受託業務の実施

チケット管理システム (Gettii) を使用して、貸館利用者のチケット販売を受託 (手数料10%) し、施設利用者や観客の利便性向上に貢献しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会館名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	123件	8,524,296円
ロームシアター京都	69件	3,530,963円
計	192件	12,055,259円

(6) セット券の販売

京都コンサートホールでは、開館20周年 (平成27年度) を契機にセット券の販売を開始しました。令和2年度は、ムジカエテルナ、ロンドン交響楽団、そして京響スーパーコンサートを組み合わせたオーケストラ・セット券「ビック3」を販売しました。また、アンサンブルホールムラタでは、世界のトップクラスの室内楽を鑑賞する「北山クラシック倶楽部」において、前半4公演、後半5公演の2回に分けて、それぞれ100枚限定でセット券を販売しました。

共通座席「マイシート」も継続し、大ホール・アンサンブルホールムラタの両ホールで最上級の音楽の鑑賞機会を提供する予定でしたが、セット券対象の公演は全て中止・延期となりました。

(7) 学生，高齢者，障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

京都コンサートホールの主催事業における学生割引，シニア割引，障がいのある方割引を実施し，学生，高齢者，障がいのある方が音楽を鑑賞しやすい環境を整備しました。

(8) ウィークデーパッケージプランの運用

クラシック音楽だけではなく，他のジャンルにも間口を広げ，多様な音楽ファンが集えるホールとして「京都コンサートホールウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し，平日のホール利用率向上に貢献しました。

(参考) 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン事業数

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事 業 数	11 事業	16 事業	5 事業	3 事業

(参考) 令和2年度 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事 業 名	事 業 日	主 催 者
第22回シネマ・コンサートの会	11月6日 (金) アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
横山 幸雄ピアノリサイタル	11月11日 (水) アンサンブルホールムラタ	京都ミュージズ
第23回シネマ・コンサートの会	2月19日 (金) アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ

※このほか，新型コロナウイルス感染症の影響に伴うキャンセル2件。

(9) 京都コンサートホール記念グッズの販売

開館25周年を記念して，京都の若手の伝統的工芸品作家とコラボレーションし，京扇子や清水焼などのオリジナルグッズを発売しました。



(10) 外部資金の獲得

主催事業の実施に当たっては，文化庁助成，民間助成に加え，民間企業等からの協賛金の獲得に努めました。さらには，賛助会員制度（4 各種会員制度等の運営（2）賛助会員制度の運営 参照）の活用を行いました。

4 各種会員制度等の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組

「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」「京響友の会」の各会員制度の周知を図るとともに、会員共通サービスとして京都市交響楽団の練習風景の公開やバックステージツアーを開催するなど、各会員制度を有機的に活用し、新規会員の獲得に努めました。

また、オンライン会員の「フレンズ会員」（ロームシアター京都との共通会員）については、メールマガジンで先行発売の情報などを配信し、会員数の維持・拡大を図りました。

(参考) 会員数の推移

会員制度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
京都コンサートホールClub	3,074名	2,897名	2,761名	2,071名
京響友の会 個人会員	1,406名	1,433名	1,439名	1,337名
京響友の会 法人会員	100社	95社	98社	92社

(参考) フレンズ会員登録数

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新規登録数	7,151名	7,857名	9,458名	3,982名
累計登録数	43,041名	50,898名	60,356名	64,338名

(2) 賛助会員制度の運営

京都コンサートホールならびにロームシアター京都の主催事業の一層の充実のため、年間を通じた支援を受けるべく、賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）を設けています。会員の方には、会報の送付、チケットの先行予約のほか、会員向けバックステージツアーやゲネプロ公開、また、事業報告会（2年度は開催できず）を開催するなど、会員の方に事業内容を深くご理解いただき継続してご支援いただけるように努めました。

なお、寄附金は、京都コンサートホールおよびロームシアター京都の主催事業の事業費に充当しました。

(参考) 会員数と寄附金

会員区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
スペシャルサポーター (法人)	1件 50万円	2件 100万円	2件 100万円
サポーター (法人)	31件 340万円	28件 290万円	20件 210万円
スペシャルパートナー (個人)	32件 162万円	36件 176万円	33件 218万円
パートナー (個人)	45件 90万円	46件 92万円	52件 104万円
合計	109件 642万円	112件 658万円	107件 632万円

■ 地域文化会館

(東部文化会館, 呉竹文化センター, 西文化会館ウエスティ, 北文化会館, 右京ふれあい文化会館)

I 主催事業〔全50事業68公演7講座〕

(うち中止14事業37公演1講座, 延期16事業9公演5講座)

地域文化会館が地域の文化芸術の活動拠点として, 平成23年度から取り組んできた「地域文化芸術活動活性化協議会」「文化芸術活性化パートナーシップ事業」などを, 新型コロナウイルス感染症の影響がある中においても引き続き実施し, 文化芸術活動団体, 行政, 学校関係, 地元の各団体等と連携して, 文化芸術活動情報の受発信, 文化芸術活動団体育成や支援など, 地域の文化芸術の振興に取り組みました。



1 地域文化芸術活動活性化協議会の開催

地域文化芸術活動活性化協議会からの提案や意見を受け, コーディネーターが地域の文化芸術活動団体・個人と連携する事業を地域文化会館で実施しました。

呉竹文化センターでは, コロナ禍における安全対策として会場を大きなホールに変更し, 京都教育大学の協力のもと, 南インド古典舞踊の実演とインド文化の紹介を交えたワークショップ「南インド古典舞踊を楽しもう」を開催しました。

※ 地域文化芸術活動活性化協議会とは

文化芸術活動団体, 行政の代表者, 教育機関の代表者などで構成され, 地域ネットワークの構築, 文化芸術の情報提供, アウトリーチ事業の開催協力, 施設運営への助言や意見交換などを行うとともに, 協議会の持つネットワークを活用し, 文化芸術活動情報の受発信, 事業の協働企画・開催など, 地域文化会館が文化芸術の活動拠点として, より一層, 地域における文化芸術の活性化を図るとともに, 魅力ある地域のまちづくりに貢献するため, 平成23年度から各地域文化会館に設置しています。

2 地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では, 以下の5つの視点を重視した文化事業を実施しました。

- ① 文化芸術活性化パートナーシップ事業
- ② 地域における文化芸術普及事業
- ③ 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
- ④ 住民の文化芸術活動への支援型事業
- ⑤ 施設間の交流事業

(1) 文化芸術活性化パートナーシップ事業



地域の文化芸術の活性化を図るため、各地域文化会館ではパートナー団体と協働で、鑑賞型の「無料公演」に加え、地域の子どもたちを対象とした育成型プログラムである「教育プログラム」を実施しました。

呉竹文化センターでは、墨染交響楽団が小編成によるクラシック音楽等の楽曲演奏「早春アンサンブルコンサート」を開催し、また、西文化会館

ウエスティでは、京都フィルハーモニー室内合奏団が作曲家マーラーを題材に、人物像や楽曲の解説・演奏等を交えた公開練習を開催し、コロナ禍の中、地域の方々に生の演奏を楽しんでいただけました。

(参考) 令和2年度パートナーシップ団体

会館名	パートナーシップ団体
東部文化会館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル 京都橘大学吹奏楽部
呉竹文化センター	京・伏見音楽サークル和音 墨染交響楽団
西文化会館ウエスティ	吹奏楽団京都ムジークフェライン 特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
北文化会館	吹奏楽団「雅」 京都セシリア合唱団
右京ふれあい文化会館	NEO吹奏楽団 RAM吹奏楽団

※ 文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

演劇・音楽・ダンスなど舞台芸術活動団体（パートナーシップ団体）と地域文化会館が、協働して地域の文化芸術を活性化することを目的とし、魅力ある舞台芸術を披露する「無料公演」、未来を担う子どもたちを対象にワークショップやミニコンサートなどを行う「教育プログラム」を会館内外で年1回以上開催することを条件に、拠点となる文化会館のホールを練習で利用する場合、通常料金の2割で利用することができるほか、文化会館が活動情報の発信や地域活動への協力などを行う事業です。

(2) 地域における文化芸術普及事業

ア 伝統的芸術文化の紹介

伝統音楽・伝統芸能を文化会館5館が連携し、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として広く発信・披露する「KYOTO伝統芸能フェスティバル2020」を各地域文化会館において開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に延期することとしました。



(参考)「KYOTO伝統芸能フェスティバル2020」の公演ラインナップ

会館名	タイトル	内容
東部文化会館	伝統音楽・伝統芸能シリーズ 「地域みんなの狂言鑑賞会」	小学生を対象とし、狂言の解説と実演を交えた鑑賞会
呉竹文化センター	地域の伝統文化との出会い 「淀川三十石船唄伏見継唱会」	三十石船で歌い継がれてきた「淀川三十石船歌」の上演など
西文化会館ウエスティ	伝統芸能シリーズ 「ウエスティ寄席」	プロの噺家による「京都」を題材にした落語を上演
北文化会館	KITABUN伝統芸能鑑賞会 「和楽器の響き」	京都市内の3大学の能楽サークルによる解説を交えた能楽の演舞会
右京ふれあい文化会館	未来へつなぐ伝統芸能 「京都三大念佛狂言」	京都の三大念佛狂言保存会による実演と上演風景の写真パネル展示など

イ アウトリーチ事業

活動団体（文化芸術活動団体）を主催団体（学校等の教育施設、病院や福祉施設、商業施設等）に派遣し、ワークショップやミニコンサートを行うアウトリーチ事業については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。令和3年度は社会情勢等を踏まえ、活動団体と連携し、地域の文化芸術の振興に向けて取り組んでまいります。

(3) 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業

ア 地域の教育機関との連携

京都市立芸術大学と各地域文化会館が連携して才能ある若い世代を支援するため、西文化会館ウエスティで「ウエスティ音暦（おとごよみ）」1公演、北文化会館で「文化会館コンサート」2公演（うち無観客オンライン配信1公演）を開催しました。



(4) 住民の文化芸術活動への支援型事業

ア 市民参加型事業（活動団体の支援）

市民の誰もが自己表現できることに感動できる事業として、呉竹文化センターでは会館のピアノを演奏することのできる「スタインウェイを弾いてみよう」、西文化会館ウエスティでは「市民創造ステージ～みんなが集まる夢の舞台～」、北文化会館では「市民創造ステージ2020 KITABUNの春・音楽会」を開催しました。



イ 創作文化活動の作品展示



創作文化活動を行う個人・団体を対象に、会館施設の一部を作品展示の場として無料で提供する東部文化会館の「ギャラリーエコム」、呉竹文化センターの「呉竹アートケース」、西文化会館ウエスティの「ウエスティ ギャラリー」、北文化会館の「KITABUNミニギャラリー」、右京ふれあい文化会館の「右京ふれあいミニギャラリー」を通年で開催しました。

(5) 施設間の交流事業

ア ロームシアター京都との連携事業

地域の文化芸術の拠点として機能する地域文化会館5館と、文化芸術の創造・発信拠点であるロームシアター京都が連携し、子どもたちの初めての劇場体験の場を創出し、劇場文化の醸成を図ることを目的として、18箇月の子どもとその保護者を対象にしたクロマチックアコーディオンの演奏とダンスを用いたパフォーマンス作品「KUUKI」を東部文化会館と西文化会館ウエスティで開催しました。



イ 鑑賞型事業の実施

市民の誰もが気軽にクラシック音楽を楽しんでいたけるよう入場料を廉価に設定し、何処かで聴いたことのある楽曲を京都市交響楽団のメンバー「京都しんぷおにえった」が演奏する「ちょっと素敵朝からクラシック」を呉竹文化センター（2公演）、北文化会館（1公演）で開催しました。



(参考) 文化会館における事業・公演数の変遷

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事 業 数	52 事業	50 事業	53 事業	50 事業
公 演 数	75 公演	74 公演	70 公演	68 公演
講 座 数	11 講座	20 講座	18 講座	7 講座

※上記の数にアウトリーチ事業は含まない。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度はうち中止5事業10公演、令和2年度はうち中止14事業37公演1講座、延期16事業9公演5講座。

II 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに、指定管理者として利用料金収入の増収を図るため、営業の強化に努めるとともに割引制度などを導入し、利用の促進を図りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業の中止等が生じ、利用日数や利用料金収入の実績にかなりの影響が出ています。

そうした中、文化芸術の創造・発信拠点として当施設が担っている役割を果たしていくことで、文化芸術都市・京都のまち全体の発展に引き続き寄与していくことが重要であるという考えのもと、新型コロナウイルス感染拡大防止によるホールの利用について「安全対策ガイドライン」を策定・改定し、感染症の状況や特徴を踏まえた具体的な利用上の注意点を示す等により、感染拡大防止に努めながら催しが開催できるよう工夫しました。また、場内サービス、各種設備の運転等についても、感染症の状況を踏まえた運用の見直し等を行ったほか、検温機器の導入やアクリル板等の設置、ロビーにおける椅子の配置の見直し等も行い、安全、安心で快適な劇場空間の提供に引き続き努めました。

東部文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	令和元年度	令和2年度
入場者数（ホール）数値	40,694 名	10,445 名
利 用 料 金 収 入 額	29,069 千円	15,722 千円
駐車場利用料金収入額	4,569 千円	2,128 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用率（日数）の目標値	62 %	62 %	63 %	62 %
利用率（日数）の実績値	59 %	64 %	55 %	36 %
目 標 達 成 度	95.2 %	103.2 %	87.3 %	58.1 %

呉竹文化センター

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	令和元年度	令和2年度
入場者数（ホール）数値	59,045 名	17,079 名
利 用 料 金 収 入 額	36,178 千円	22,385 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用率（日数）の目標値	80 %	78 %	76 %	75 %
利用率（日数）の実績値	76 %	74 %	69 %	42 %
目 標 達 成 度	95.0 %	94.9 %	90.7 %	56.0%

西文化会館ウエスティ

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	令和元年度	令和2年度
入場者数（ホール）数値	49,663 名	9,533 名
利 用 料 金 収 入 額	30,247 千円	16,172 千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入 額	4,858 千円	1,760 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用率（日数）の目標値	66 %	62 %	61 %	62 %
利用率（日数）の実績値	57 %	60 %	60 %	41 %
目 標 達 成 度	86.4 %	96.8 %	98.3 %	66.1%

北文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	令和元年度	令和2年度
入場者数（ホール）数値	26,196 名	9,111 名
利 用 料 金 収 入 額	31,591 千円	19,759 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用率（日数）の目標値	80 %	80 %	80 %	80 %
利用率（日数）の実績値	77 %	77 %	59 %	39 %
目 標 達 成 度	96.3 %	96.3 %	73.7 %	48.8 %

右京ふれあい文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	令和元年度	令和2年度
入場者数（ホール）数値	38,890 名	12,842 名
利 用 料 金 収 入 額	35,562 千円	20,417 千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入 額	4,013 千円	1,935 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用率（日数）の目標値	76 %	76 %	76 %	74 %
利用率（日数）の実績値	77 %	69 %	67 %	46 %
目 標 達 成 度	101.3 %	90.8 %	88.1 %	62.2 %

（２）舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術，舞台音響，舞台照明等に関する企画業務を受託しました。これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し，利用者はもとより，観客に満足していただける舞台運営に努めました。

（参考）令和2年度 催し物の企画業務に関する受託状況

会 館 名	受託件数	受 託 内 容	収 入 金 額
呉竹文化センター	1 件	バレエ教室発表会	11,000 円
右京ふれあい文化会館	1 件	学芸会	11,000 円
計	2 件		22,000 円

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

（１）お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進【再掲】

京都コンサートホール 7 ページ参照

（２）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール 7 ページ参照

（３）施設・設備の維持管理

東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティ，北文化会館はいずれも開館から20年以上が経過しているため，施設の所有者である京都市による施設の改修及び修繕のほか，財団でも，京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

（参考）主な修繕事例（財団実施分）

会 館 名	修 繕 内 容
東 部 文 化 会 館	会議室前男子トイレ自動水栓取替修繕
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	東ホワイエトイレ系統排水管排水不良修繕
西文化会館ウエスティ	電話交換機修繕
北 文 化 会 館	空調設備リモートユニット修繕
右京ふれあい文化会館	会議室スライディングウォール修繕

3 利用促進向上の取組

(1) 地域文化会館割引制度

平成23年度からの利用料金制度導入に伴い、地域文化会館のホール利用を促進するため、平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

ア 平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ）及びロームシアター京都（メインホール・サウスホール）、地域文化会館（ホール）のいずれかで、演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており、ホール本番利用日の2箇月前の日から本番までの平日利用に限り、ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は、通常利用料金の50%を割り引く制度。

(参考) 令和2年度 平日直前利用割引制度適用件数

会館名	受託件数	主な利用者
東部文化会館	6件	音楽教室、学校関係、音楽団体
呉竹文化センター	3件	ダンス教室、音楽団体等
北文化会館	1件	合唱団体
計	10件	

イ 平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に2区分以上連続して利用する場合は、通常利用料金の15%を割り引く制度。

(参考) 令和2年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会館名	受託件数	主な利用者
東部文化会館	17件	幼稚園、保育園、学校関係等
呉竹文化センター	40件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
西文化会館ウエスティ	19件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
北文化会館	26件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
右京ふれあい文化会館	19件	学校関係、幼稚園、音楽教室等
計	121件	

■ ロームシアター京都

I 主催・共催事業

〔30事業87公演3講座（うち中止5事業18公演、延期2事業6公演）〕

令和2年度に開館5周年を迎えたロームシアター京都は、「世界市民のための劇場へ」をテーマに創造・交流・育成・生活の4つの事業の要素を柱に「劇場文化」を創出してまいりました。

洋の東西を問わず世界水準の優れた作品をお届けすることはもちろん、劇場の財産となる作品のプロデュースや次代を担う芸術家の育成に国際的な視点で取り組んでまいりました。更にロームシアター京都が開かれた場として、人々の交流を活性化させるべく、京都の様々な施設や団体と連携しながら、地域に根をおろしていく事業を展開しました。あわせて、賑わいスペース事業やミュージックサロン事業等により、賑わいの創出や身近に文化芸術に親しむための取組を進めました。

しかしながら、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、いくつかの事業を中止・延期せざるを得ませんでした。そんな状況でも、ただ公演を中止にするのではなく、オンライン配信や映像上映会の実施等、新たな手法への挑戦を試みました。

1 主催・共催事業関連

平成28年1月にリニューアルオープンしたロームシアター京都は、早くも令和3年1月に開館5周年を迎えました。そこで令和3年1月～3月の期間に開催した事業は「ロームシアター京都開館5周年記念事業」と題し、これまで培った経験とネットワークを総動員して、特色ある事業を展開しました。緊急事態宣言が発令されたこともあり、客席数の制限、開演時間の変更がありました。なんとか無事に公演を実施することができました。昨年度の公演延期からの実施となった「舞台芸術としての伝統芸能 Vol.3 人形浄瑠璃 文楽」は、高い評価を得、関西の批評家が選抜する十三夜会3月月間賞の推賞（最優秀賞）を「木下蔭狭間合戦『竹中砦の段』」で受賞しました。一方、海外アーティストの入国規制は厳しく、記念事業の目玉のひとつとして企画していた、ハンブルク・バレエ団の上演は断念せざるを得ず、代わりに、上演を予定していた演目『ベートーヴェン・プロジェクト』と、コロナ禍に生まれた2020年9月の新作『ゴースト・ライト』の2本立てで、映像上映会を開催しました。5周年記念事業と合わせて、「ロームシアター京都開館5周年記念誌」の発行や「開館5周年記念 自主事業ポスター展」を行い、5年の歩みを振り返りました。

自ら舞台芸術作品を企画・制作するシリーズ「レパトリーの創造」では、長らく京都を拠点に活動を続けてきた劇作家・演出家の松田正隆に新作を委嘱したほか、同シリーズで2018年に発表した、木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』のロームシアター京都での再演に加え、あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）での東京公演も実現しました。

さらに、地域文化会館や青少年活動センターなど、京都で活動する他の文化施設と連携し、京都における文化芸術のハブとしての機能を高めるための事業を実施しました。従来の事業に加え、新型コロナウイルスの感染リスクを下げた事業実施形態を模索し、「OKAZAKI PARK STAGE」の企画内容を拡充して、ローム・スクエアに屋外特設ステージを設置し、音

楽ライブや人形劇の上演，映画上映，映像展示等，盛りだくさんのコンテンツを市民のみなさまにお届けしました。

【主な事業】

● 演劇

- ・ 第350回～354回 市民寄席
- ・ 地点 新作「君の庭」 ※オンライン配信も合わせて実施
- ・ 能楽チャリティ公演 ～祈りよとどけ 京都より～ ※オンライン配信
- ・ ロームシアター京都 レポートリー作品 木ノ下歌舞伎「糸井版 摂州合邦辻」
- ・ レポートリーの創造「シーサイドタウン」 作・演出：松田正隆
- ・ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.3 人形浄瑠璃 文楽



● 舞踊

- ・ フランソワ・シェニョー&ニノ・レネ
「不確かなロマンス —もう一人のオーランドー」
- ・ ハンブルク・バレエ団 映像上映会



● 音楽

- ・新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2020
モーツァルト作曲：歌劇「魔笛」（全2幕）
- ・シリーズ舞台芸術としての伝統芸能 Vol.4 雅楽 出演：伶楽舎，音輪会，Noism0
- ・京都市交響楽団×石橋義正 パフォーマティブコンサート「火の鳥」



● 総合

- ・京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2021 Spring
- ・ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU”
- ・ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業『KUUKI』
- ・プレイ！シアター at Home ※オンライン配信も合わせて実施
- ・岡崎活性化企画 KYOTO PARK STAGE (OKAZAKI PARK STAGE)



● 参加する劇場へ ～学芸・教育プログラム

ロームシアター京都が開かれた場所として，人々の交流や憩いの場となるよう，さまざまな形で積極的に参加できる取組を行いました。

- ・ロームシアター京都×（公財）京都市ユースサービス協会連携事業
「未来のわたし 一劇場の仕事」
- ・劇場の学校プロジェクト
- ・地域の課題を考えるプラットフォーム
- ・ロームシアター京都 リサーチプログラム
- ・「いま」を考えるトークシリーズ vol.11, vol.12 ※オンライン配信



2 賑わいスペース事業

「京都会館賑わいスペース事業プラン」を推進するため、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り、市民や観光客の皆様の憩いの場となるパークプラザを中心に、ブック&カフェ、レストラン、キオスクといった常設の店舗が高い評価を得て運営されるよう努めました。

ただし、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業時間の短縮や臨時休業を行わざるを得ず、イベント等の取組についても例年どおりの内容や規模での実施が困難となりました。国内外からの観光客の激減などもあり、入店者数も大幅に減少した厳しい一年となりました。

事業内容	店舗名	営業時間※
ブック&カフェ (パークプラザ1階)	京都岡崎 蔦屋書店 スターバックスコーヒー	午前8時から午後10時
レストラン (パークプラザ2階)	京都モダンテラス	午前8時から午後11時
キオスク (サウスホール1階 ホワイエ内)	ファミリーマート	午前8時から午後10時
ギャラリー・ライブラリー (パークプラザ3階共通ロビー)	BOOK&ART GALLERIA	午前9時から午後7時 (開館時間等に応じて変更)

※新型コロナウイルス感染症の影響等により、本欄記載の時間から一時的に変更し営業しました。また、臨時で休業した日があります。

実績 入店者数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入店者数の実績値	1,708,053名	1,720,295名	1,125,605名

3 ミュージックサロン事業

音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」(パークプラザ3階)を、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同運営しています。①音楽その他文化芸術に関する資料の展示、②セミナー、講演会、コンサート等の文化芸術イベントの開催を中心としておりますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、展示の実施を見送りました。イベントに関しては、「ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 成田達輝×田村響 名曲の調べ」をアーカイブ映像配信し、多くの方にお届けしました。

実績 来場者数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
来場者数の実績値	12,203名	9,440名	9,964名	—

II 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

平成28年1月にリニューアルオープンしたロームシアター京都は、令和2年度においても、各施設の特性を生かした舞台芸術公演や式典、集会、MICEといった様々な催しで、多くの方にご利用いただく予定となっております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの人が集まる催しの開催を自粛したり、海外からの出演者の来日が不可能になったりするなどし、催しのキャンセルや内容変更が相次ぎました。また、緊急事態宣言に伴う臨時休館により、利用の取止をお願いする事態も生じました。このため、利用日数や利用料金収入、また来場者数といった実績は目標を大きく下回る結果となりました。

多くの人が同時に空間を共有する場であるロームシアター京都においては、施設や催しの特性に応じた適切な感染拡大防止対策を確実に実施し、文化芸術の創造・発信拠点として当施設が担っている役割を果たしていくことで、文化芸術都市・京都のまち全体の発展に引き続き寄与していくことが重要であるという考えのもと、「ロームシアター京都における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を策定・改訂し、感染症の状況や特徴を踏まえた具体的な利用上の注意点を示す等により、感染拡大防止に努めながら催しが開催できるよう工夫しました。

また、場内サービス、各種設備の運転等についても、感染症の状況を踏まえた運用の見直し等を行ったほか、検温機器の導入やアクリル板等の設置、ロビーにおける椅子の配置の見直し等も行い、安全、安心で快適な劇場空間の提供に引き続き努めました。

なお、令和2年6月から8月にかけて、京都市文化芸術活動緊急奨励金を活用した活動を対象に、一部施設を無料で利用可能とする活動支援を実施しました。

実績1 利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利 用 料 金 収 入 の 目 標 値	328,000 千円	343,149 千円	351,389 千円
利 用 料 金 収 入 の 実 績 値	333,812 千円	337,152 千円	136,254 千円
目 標 達 成 度	101.8 %	98.3 %	38.8 %

実績2 入場者数

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入 場 者 数 の 目 標 値	510,000 名	510,000 名	520,000 名
入 場 者 数 の 実 績 値	497,784 名	478,875 名	76,076 名
目 標 達 成 度	97.6 %	93.9 %	14.6 %

実績3 日数利用率

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
メインホール	利用率(日数)の目標値	83 %	82 %	81 %
	利用率(日数)の実績値	81 %	74 %	49 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	90.2 %	60.5 %
サウスホール	利用率(日数)の目標値	82 %	81 %	78 %
	利用率(日数)の実績値	80 %	77 %	46 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	95.1 %	59.0 %
ノースホール	利用率(日数)の目標値	75 %	73 %	76 %
	利用率(日数)の実績値	72 %	77 %	59 %
	目 標 達 成 度	96.0 %	105.5 %	77.6 %

(2) 岡崎公園の利用受付業務

ロームシアター京都に隣接する岡崎公園の利用受付等に関する業務を京都市より受託し、申請書の受付等の業務を行いました。

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）や研修等の実施

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）委員会や研修等を開催しました。

(2) 「理事長への手紙」の設置【再掲】

京都コンサートホール 7ページ参照

(3) 賑わいスペース事業者定期連絡会の開催

賑わいスペース事業における各店舗の責任者等との定期的な連絡会を開催し、日常的な施設運営に係る様々な情報共有を行い、サービスの向上に努めました。

(4) 施設・設備の維持管理

開館から5年が経過し、施設としての機能を適切に維持するため、バッテリー等の交換や機材の修繕等を実施したほか、利用者や観客、またスタッフ等の安全面や快適性を視野に入れた機能向上に引き続き取り組んでいます。所有者である京都市による施設・設備の修繕のほか、財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき、修繕や機能向上に取り組みました。

(参考) 主な機能向上等事例（財団実施分）

施 設 名	機 能 向 上 内 容
全 館	インターネット配信用回線増設
ゴ ミ 庫	扉改修

3 広報・宣伝，チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

主催事業ラインアップ・リーフレット，催物カレンダーの作成，ホームページやSNSの運用，賑わい事業者と連携した取組，また，様々な広報媒体への働きかけ等により，効果的な情報提供や話題作りを行い，劇場への期待感を高めるとともに，施設の認知度を高める取組を引き続き進めました。

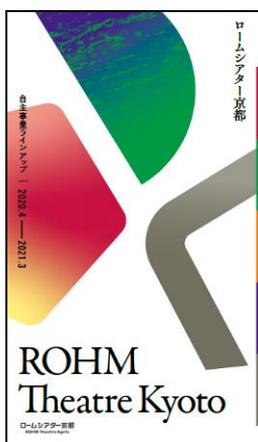
加えて，企業からの協賛金や文化庁をはじめとする各種助成金の獲得へ向けた取組を行うとともに，平成26年度に開始した賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）についても，新規の会員獲得に引き続き取り組み，外部資金の獲得等による劇場経営の基盤強化を図り，積極的な事業展開につなげています。

(1) 主催事業ラインアップ・リーフレットの発行

平成29年度から引き続き，主催事業ラインアップを事業の趣旨に分類して紹介するレイアウトで構成し2回発行しました。（春号：令和2年4月，秋号：令和2年10月）

(2) 催物カレンダーの発行

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のほか，ロームシアター京都で開催される最新の催物情報を掲載したものを毎月発行し，催し物情報の提供やチケット販売促進に努めました。



ア 主催事業ラインアップ・リーフレット

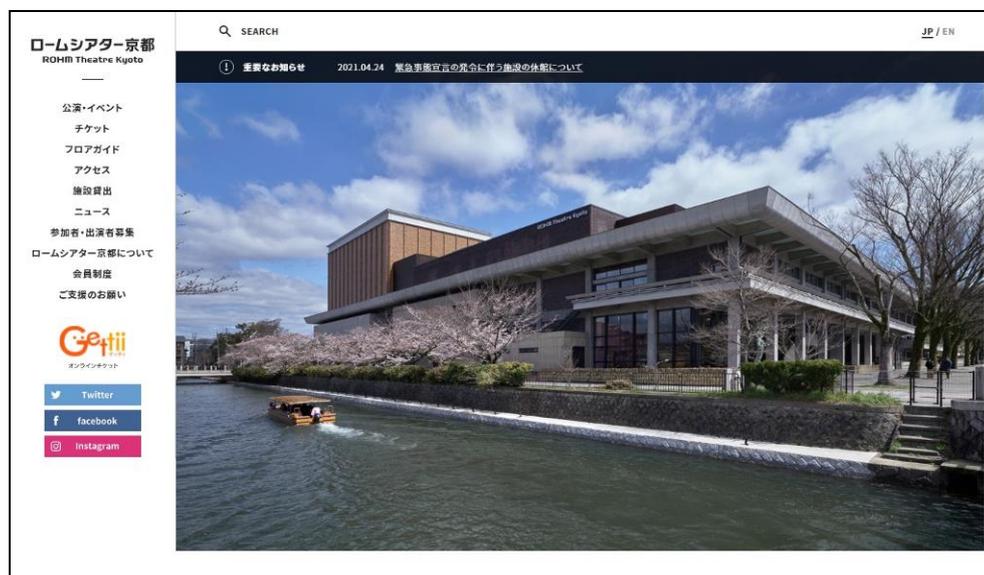


イ 催物カレンダー



(3) ホームページ等の充実

ホームページについては、アクセス分析等を踏まえ、適宜仕様変更を行いました。また、FacebookやTwitter等のSNSも活用し、効果的な情報提供に努めました。



(4) チケット票券管理システムの効果的な運用【再掲】

京都コンサートホール 9 ページ参照

(5) 貸館利用者のチケット販売受託業務の実施【再掲】

京都コンサートホール 9 ページ参照

(6) 外部資金の獲得【再掲】

京都コンサートホール 10 ページ参照

4 各種会員制度の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組【再掲】

京都コンサートホール 11 ページ参照

(2) 賛助会員制度の運営【再掲】

京都コンサートホール 11 ページ

■ 京都市交響楽団

I 主催・共催事業

〔全28事業57公演（うち中止10事業25公演，延期1事業1公演）〕

1 定期演奏会

新型コロナウイルス感染症の影響により，4月から6月までの演奏会は中止となりましたが，そのような状況においても，7月以降，海外からの指揮者やソリストの変更，曲目の変更等を行い，広上淳一第13代常任指揮者兼芸術顧問に加え，国内の巨匠から実力派，新進気鋭の若手まで幅広く指揮者やソリストを招き，古典から近・現代までの魅力あふれる楽曲を数多く揃え，芸術性の高い，充実した演奏を提供しました。

2 特別演奏会

恒例のスプリングコンサート，第九コンサートは，新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが，代わりに年末には「情熱のチャイコフスキー・ガラ」を開催し，ニューイヤーコンサートとともに，充実した出演者と心躍る楽曲により，時節を彩る演奏をお届けしました。

また，新たにクリスマスコンサートを開催し，子どもから大人まで幅広い世代のお客様に，オーケストラの演奏を楽しんでいただきました。

3 市外公演

新型コロナウイルス感染症の影響により，大阪及び名古屋での公演は中止又は延期となりました。

4 オーケストラ・ディスカバリー ～こどものためのオーケストラ入門～

「オーケストラを聴いてみよう！」と題して，オーケストラやクラシック音楽が持つ魅力を名曲の演奏と楽しいお話でご案内しました。青少年の情操の向上や健全な心の育成とともに，若い世代へのオーケストラの振興と普及を図ることを目的として，定期演奏会の会員への導入コンサートとしての位置づけで開催し，将来のクラシック愛好家を育みました。

5 みんなのコンサート

地域文化会館を会場に低料金で0才から入場できる演奏会を開催し，日頃クラシック音楽に接する機会の少ない市民の皆様にも身近で生の演奏に接する機会を提供し，地域密着型のオーケストラとしてクラシック音楽の普及，クラシック音楽ファンの醸成，京響ファンの獲得を図りました。

6 京響プレミアム

クラシック音楽のジャンルを超えたアーティスト・芸術文化とのコラボレーションによる演奏会をオンライン配信により開催し，オーケストラの生み出す新しい音楽世界の魅力を提供することにより，幅広いオーケストラファンの獲得を図りました。

7 共催事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年どおりの京都市内の小・中学校の全児童・生徒を対象とした音楽鑑賞教室は開催できませんでしたが、演奏の様子を映像収録したDVDを全小学校に配布することで、クラシック音楽の普及とクラシックファンの獲得を図りました。

8 その他演奏会等

(1) 楽器講習会等

吹奏楽連盟の協力のもと、高校生を対象に、オンラインで楽器の実技指導や音楽全般に関する指導・助言を行いました。また、派遣演奏など、京都市が開催する行事等への参加も行いました。

(2) 京響コーラス

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動内容の大幅な変更を余儀なくされましたが、感染症対策を徹底して練習を行い、3月のオーケストラ・ディスカバリーで共演しました。

(3) 京都市ジュニアオーケストラ

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動開始時期は例年より大幅に遅れましたが、演奏指導をオンラインを活用して行うなど、感染症対策を徹底して取り組み、将来の音楽文化の担い手を育成し、京都の音楽文化の更なる発展を目指しました。

(4) アウトリーチコンサート

新型コロナウイルス感染症による活動停止から再開する最初のコンサートとして、各文化会館において、新型コロナウイルス感染症対策を行い、座席の使用も大幅に制限したうえで、市民を無料で招待して、アンサンブル演奏を実施しました。

(5) YouTubeを活用した情報発信

新たにYouTubeを活用した情報発信を開始し、演奏会の動画に加えて、活動自粛期間中に楽団員が自ら撮影した動画や、美術館、二条城、知恩院、仁和寺など市内の名所で、アンサンブル演奏を実施し撮影した動画などを配信しました。

II 受託事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの演奏会が中止又は延期となりましたが、「綾部市政施行70周年記念事業特別演奏会」等、京都市交響楽団の京都市内外での知名度の向上を図るとともに、より充実した主催事業を実施するための資金を獲得するため、びわ湖ホール主催のオペラなど、8事業9公演を受託しました。

■その他

I 事業運営の透明化，適正化の推進

1 舞台芸術企画運営委員会・貸館等審査委員会

京都コンサートホール及びロームシアター京都を審議対象とする「公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団舞台芸術企画運営委員会」を年2回開催し，企画・運営に関する基本事項や京都ならではの舞台芸術の創造や発信を目的とする舞台芸術活動への審議や助言をいただきました。

また，両館の貸館事業をより適切に運営するため，「貸館等審査委員会」を開催する予定でしたが，新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

II 環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として，平成20年2月に認証取得したKESステップ1について，令和3年2月に継続認証を取得しました。

III 情報の収集

1 公立文化施設協会等への参加

公立文化施設を構成員とする，公益社団法人全国公立文化施設協会，公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部，京都府公立文化施設協議会に京都コンサートホール，ロームシアター京都が加盟し，事業に参画しました。

2 コン서트ホール企画連絡会議への参加

運営環境が類似する国内主要ホールを構成員とするコンサートホール企画連絡会議に京都コンサートホールが参画し，事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報収集を行いました。

■ 組織運営のための取組

I 組織人員体制・配置等の最適化

平成25年4月から運用を開始した新人事給与制度により、経営の安定化を図るとともに、プロパー職員が財団運営の中心となって働きがいのある職場づくりを進めるよう取り組んでまいりました。

また、平成28年度からは嘱託職員の人事・給与制度の改正を行い、財団で働く職員全員が働きがいのある職場となるように努めてまいりました。

令和2年度についてはこれまでの人事給与制度の運用を安定的に行うとともに、組織運営・人員体制の実態等に応じて、更なる改革を行い、より効果的な組織運営を構築しました。

1 組織改正

令和2年度は、京都市交響楽団が「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」への対応により、楽団員が財団の職員となり、新たなステージを迎えました。そのような中、財団組織の拡充を図り、総務部、事業管理部、ロームシアター京都、京都市交響楽団管理部、京都市交響楽団演奏事業部の5部門体制とし、管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するとともに、「中期経営計画2021」に掲げる目標の達成に向けた取組を推進してまいりました。

京都コンサートホールは開館25周年、ロームシアター京都についてはリニューアルオープン後、5周年を迎えました。地域文化会館においては、施設の老朽化が進む中、京都市が施設の長寿命化に向けた修繕計画を策定しました。各部門において大きな変革期を迎えるに当たり、求められる役割や特性、施設の機能を最大限に発揮できるように、適材適所に職員を配置し、体制強化を図りました。

2 京都市交響楽団ビジョンの実現に向けた取組

令和元年度に策定した、「京響ビジョン」の5つの戦略の推進に向けて、京都市との協議・連携のもと、財政・人的支援の確保を行い、安定的な運営の実現に向け取組を進めてまいりました。

3 組織運営

以下の会議の定例的な開催により、京都コンサートホール、地域文化会館、ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し、貸館業務、施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた主催事業の展開等について検討するなど、円滑な財団運営に努めました。

① 財団定例会

構成員：専務理事、事務局長、ロームシアター京都副館長、京都市交響楽団エグゼクティブプロデューサー、総務部長、事業管理部長、京都市交響楽団管理部長、京都市交響楽団演奏事業部長、総務課長、コンサートホール管理課長、文化会館管理課長、ロームシアター京都管理課長、経理係長、事業企画係長

② 文化会館館長会議

構成員：専務理事，事務局長，総務部長，事業管理部長，総務課長，文化会館管理課長，文化会館館長，経理係長

③ 文化会館連絡会議

構成員：文化会館管理課長（チーフコーディネイター），文化会館の副館長

④ ロームシアター京都定例会

構成員：専務理事，ロームシアター京都館長，事務局長，ロームシアター京都副館長，総務部長，ロームシアター京都管理課長，事業担当課長，舞台技術課長，ロームシアター京都庶務係長，ロームシアター京都管理係長，事業担当係長

⑤ 京都市交響楽団定例会

構成員：専務理事，事務局長，京都市交響楽団エグゼクティブプロデューサー，総務部長，京都市交響楽団管理部長，京都市交響楽団演奏事業部長，京都市交響楽団管理課長，京都市交響楽団営業・マーケティング課長，京都市交響楽団演奏事業係長

4 人事異動

令和2年4月1日付けで総数36名の人事異動を行いました。

（参考1）財団職員数の推移

職名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般職員（総合職）	34名	39名	46名	47名
一般職員（楽団職）	—	—	—	81名
嘱託職員	45名	39名	44名	48名
市からの出向職員	7名	7名	6名	6名
市派遣嘱託職員	85名	84名	84名	—
計	171名	169名	180名	182名

※各年度すべて4月1日現在の人数。

※令和2年度から京都市交響楽団楽団員の当財団への受入れのため，職名変更。

（参考2）財団役職別職員数の推移

職名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
局長級	3名	2名	2名	3名
部長級	3名	3名	2名	5名
課長級	13名	14名	14名	13名
係長級	12名	14名	16名	15名
リーダー（主任）	14名	11名	12名	11名
職員	41名	41名	50名	54名
音楽スタッフ	4名	4名	4名	4名
楽団員	81名	80名	80名	77名
計	171名	169名	180名	182名

II 働き方改革等への対応

パートタイム・有期雇用労働法に関する法改正への対応を的確に行い、財団内の職員間における不合理な待遇の差をなくし、どのような雇用形態の職員にとっても働きやすい職場環境づくりに努めました。

また、令和2年4月に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、新たに時差出勤制度、在宅勤務制度、休業制度を創設し、感染拡大状況に応じて積極的に活用しました。

III 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、市民の文化芸術活動を適切に支援し、さらに文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

令和2年度は、法改正に伴い策定された「公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団ハラスメント防止に関する指針」を軸に、ハラスメントに関する正しい知識を身につける為の研修を実施しました。特にパワーハラスメントにおいては、自らの立場によって注意が必要なポイントが異なることから、管理職を対象とした研修も別途実施し、参考事例を交えながら「指導」と「ハラスメント」の違いについて認識を深めました。

これらの研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により、大人数を一度に集めるのが難しい状況下において、京都コンサートホールのホール等を会場として利用し、開催を数回に分ける等、感染予防対策を講じた上で実施しました。

また、各施設において消防訓練の実施など、様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより、職員の緊急時における対応・知識力を向上させ、不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

(参考) 令和2年度 研修内容

研修名	ハラスメント研修	管理職向けハラスメント研修
実施日	令和2年9月16日(水) 令和2年9月17日(木) 令和2年9月24日(木) 令和2年10月7日(水)	令和2年9月29日(火)
受講人数	各30～40名	34名
研修内容	「財団ハラスメント防止に関する指針及び手引きについて」 講師 公益社団法人葵橋ファミリー・クリニック 卯月 路子 氏 加藤 理英 氏	「管理監督者の役割について」 講師 公益社団法人葵橋ファミリー・クリニック 山本 陽子 氏
会場	京都コンサートホール 京都市交響楽団練習場	京都コンサートホール

IV 庶務報告

1 役員会の開催

令和2年度は、次のとおり理事会及び評議員会を開催し、すべての議案について可決されました。

(1) 第1回理事会 令和2年6月8日

(書面評決)

- <議案>
- ・令和元年度事業報告について
 - ・令和元年度特定費用準備資金保有について
 - ・令和元年度補正予算について
 - ・令和元年度決算について
 - ・令和2年度特別寄附金の受領について
 - ・令和2年度補正予算について
 - ・令和2年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
 - ・顧問の選任について
 - ・舞台芸術企画運営委員会、京都市交響楽団企画運営委員会の設置及び委員の選任について
 - ・貸館等審査委員会の委員の選任について
- <報告>
- ・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について

(2) 第1回評議員会 令和2年6月23日

(書面評決)

- <議案>
- ・令和元年度事業報告について
 - ・令和元年度決算について
 - ・理事の選任について
 - ・監事の選任について
 - ・評議員の選任について
 - ・評議員及び非常勤役員の報酬日額の決定について
- <報告>
- ・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について
 - ・京都市交響楽団楽団員の受入れについて
 - ・ロームシアター京都館長就任の延期について

(3) 第2回理事会 令和2年6月23日

(書面評決)

- <議案>
- ・代表理事（理事長）の選定について
 - ・業務執行理事（専務理事）の選定について
 - ・顧問の選任について
 - ・常勤役員（業務執行理事）の報酬額の決定について

- ・令和2年度特別寄附金の受領について
- <報告> ・ロームシアター京都館長就任の延期について

(4) 第3回理事会 令和2年11月17日

- <議案> ・令和3年度主要事業計画について
- ・京都国際舞台芸術祭 (KYOTO EXPERIMENT) 実行委員会への債務保証について
- ・契約事務取扱要領第4条に基づき契約する業務について
- <報告> ・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について
- ・ロームシアター京都館長問題に係る信頼回復の取組について

(5) 第4回理事会 令和3年1月29日

(書面評決)

- <議案> ・令和3年度主要事業計画 (追加) について
- <報告> ・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について
- ・ロームシアター京都館長問題に係る信頼回復の取組について
- ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について

(6) 第5回理事会 令和3年3月18日

- <議案> ・令和3年度事業計画について
- ・令和3年度収支予算について
- ・契約事務取扱要領第4条に基づく債務負担行為について
- <報告> ・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について

(7) 第6回理事会 令和3年3月31日

(書面評決)

- <議案> ・事務局長の任命について

2 役員の変動

(1) 第1回評議員会による承認

ア 理事の就任

新再任 の別	氏名	役職（承認日現在）	就任日
再任	青山 恒	元NHKプロデューサー	令和2年6月23日
新任	片山九郎衛門	観世流能楽師，公益社団法人京都観世会会長，公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団理事長	
再任	榎田 隆之	京都信用金庫専務理事	
新任	砂川 敬	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	
再任	砂原 悟	京都市立芸術大学音楽学部長	
〃	染川 里美	オムロン株式会社グローバルインベストメント&ブランドコミュニケーション本部ブランドコミュニケーション部長	
新任	竹内 善行	公益財団法人ロームミュージックファンデーション事務局長	
再任	中山 幾美子	同志社女子大学音楽学科嘱託講師	
新任	西本 清一	地方独立行政法人京都市産業技術研究所理事長，公益財団法人京都高度技術研究所理事長	
〃	堀場 厚	株式会社堀場製作所代表取締役会長兼グループCEO，京都商工会議所副会頭	
再任	森川 佳昭	元京都市職員	

イ 理事の退任

氏名	役職（退任日現在）	退任日
尾池 和夫	京都造形芸術大学学長	令和2年6月23日
尾崎 学	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	
谷口 享	公益財団法人ロームミュージックファンデーションアドバイザー	
長尾 真	元京都大学総長，元国立国会図書館長	

ウ 監事の就任

新再任 の別	氏名	役職（承認日現在）	就任日
再任	中路 健一	公認会計士	令和2年6月23日
〃	並川 哲男	京都市文化市民局くらし安全推進部長	

エ 評議員の就任

新再任 の別	氏 名	役 職 (承認日現在)	就 任 日
再任	赤 松 玉 女	京都市立芸術大学学長	令和2年6月23日
新任	荒 木 美弥子	NHK京都放送局長	
再任	北 尾 哲 郎	日東薬品工業株式会社代表取締役社長, 一般社団法人京都経済同友会特別幹事	
〃	北 村 信 幸	京都市文化芸術政策監	
〃	近 藤 誠 一	元文化庁長官, 公益財団法人京都市芸術文化協会理事 理事長	
新任	田 中 誠 二	公益社団法人京都市観光協会会長, 学校法人大和学園理事長	
再任	彦 惣 弘	弁護士	
〃	星 川 茂 一	元京都市副市長, 京都市教育委員会委員	
新任	細 井 俊 介	株式会社京都放送代表取締役社長	
〃	松 本 功	〇-ム株式会社代表取締役社長	
再任	毛 利 ゆき子	京都商工会議所女性会会長	
新任	山 内 康 敬	株式会社京都新聞社代表取締役社長・主筆	

オ 評議員の退任

氏 名	役 職 (退任日現在)	退 任 日
柏 原 康 夫	株式会社京都銀行名誉顧問, 公益社団法人京都市観光協会会長	令和2年6月23日
澤 村 諭	〇-ム株式会社相談役	
田 波 宏 視	NHK京都放送局長	
中 澤 隆 司	株式会社京都放送代表取締役会長	
永 島 宣 彦	株式会社京都新聞社参与	
村 田 純 一	村田機械株式会社代表取締役会長, 京都商工会議所名誉会頭, 公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー理事長	

3 登記事項

(1) 第1回評議員会による理事・監事及び評議員の変更

氏名		登記日	氏名		登記日
理事	青山 恒 片山九郎衛門 榊田 隆之 砂川 敬 砂原 悟 染川 里美 竹内 善行 中山 幾美子 西本 清一 堀場 厚 森川 佳昭	令和2年6月23日	評議員	赤松 玉女 荒木 美弥子 北尾 哲郎 北村 信幸 近藤 誠一 田中 誠二 彦惣 弘 星川 茂一 細井 俊介 松本 功 毛利 ゆき子 山内 康敬	令和2年6月23日
監事	中路 健一 並川 哲男				

V 環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として、平成20年2月に認証取得したKESステップ1について、令和3年2月に継続認証を取得しました。職員全員が環境マネジメント活動を推進し、地域環境との調和を目指し、積極的な節電対策など環境に配慮した会館運営を行いました。

『収益事業』

I 公益目的外の施設提供事業

1 駐車場経営

指定管理業務として、主に来館者向け駐車場を運営しました。

(参考)

会館名	駐車可能台数	収入金額
京都コンサートホール	100台	6,912,740円
東部文化会館	37台	2,128,500円
西文化会館ウエスティ	53台	1,760,300円
右京ふれあい文化会館	67台	1,935,100円
計	257台	12,736,640円

2 オリジナルグッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ(16種類)、音楽に関連したグッズ(約30種類)、ロームシアター京都オリジナルグッズ(1種類)及び京響オリジナルグッズ(3種類)を販売しました。

(参考)

項目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	266,882円
ロームシアター京都グッズ収入	413,886円
プログラム等販売収入	52,000円
チケット印刷	39,780円
京響オリジナルグッズ収入	205,086円
その他	421,800円
計	1,399,434円

3 プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会館名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	123件	8,524,296円
東部文化会館	0件	0円
呉竹文化センター	1件	2,250円
西文化会館ウエスティ	0件	0円
北文化会館	1件	300円
右京ふれあい文化会館	0件	0円
ロームシアター京都	69件	3,530,963円
計	194件	12,057,809円

4 自動販売機の管理運営

京都コンサートホールに設置された自動販売機の管理運営を行いました。

(参考)

会館名	収入金額
京都コンサートホール	7,000円
計	7,000円

令和2年度

決 算 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	165,776,220	368,644,081	△ 202,867,861
未収金	324,488,308	232,407,458	92,080,850
貯蔵品	7,669,078	7,437,533	231,545
立替金	1,662,096	5,598,766	△ 3,936,670
仮払金	0	30,000	△ 30,000
前払金	181,500	17,500	164,000
流動資産合計	499,777,202	614,135,338	△ 114,358,136
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
普通預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
(2)特定資産			
記念事業引当資産	56,920,000	56,920,000	0
管理運営引当資産	331,000,000	331,000,000	0
退職給付引当資産	176,821,942	174,317,479	2,504,463
特定費用準備資金	180,540,000	152,380,000	28,160,000
特定資産取得・改良資金	2,500,000	2,500,000	0
特定資産合計	747,781,942	717,117,479	30,664,463
(3)その他固定資産			
什器備品	75,798,974	26,850,359	48,948,615
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	76,113,344	27,164,729	48,948,615
固定資産合計	926,895,286	847,282,208	79,613,078
資産合計	1,426,672,488	1,461,417,546	△ 34,745,058
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	303,923,403	254,672,833	49,250,570
未払法人税等	320,000	320,000	0
前受金	145,308,735	247,982,435	△ 102,673,700
預り金	71,368,600	94,510,169	△ 23,141,569
賞与引当金	41,971,142	38,717,245	3,253,897
仮受金	76,800	124,400	△ 47,600
流動負債合計	562,968,680	636,327,082	△ 73,358,402
2. 固定負債			
退職給付引当金	176,821,942	174,317,479	2,504,463
固定負債合計	176,821,942	174,317,479	2,504,463
負債合計	739,790,622	810,644,561	△ 70,853,939
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	55,000,000	55,000,000	0
京都市補助金	30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産合計	85,000,000	55,000,000	30,000,000
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(0)	30,000,000
2. 一般正味財産	601,881,866	595,772,985	6,108,881
(うち基本財産への充当額)	(48,000,000)	(48,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(540,960,000)	(542,800,000)	△ 1,840,000
正味財産合計	686,881,866	650,772,985	36,108,881
負債及び正味財産合計	1,426,672,488	1,461,417,546	△ 34,745,058

令和2年度正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	355,000	2,664	352,336	
1 基本財産運用益	355,000	2,664	352,336	
基本財産受取利息等	355,000	2,664	352,336	
②特定資産運用益	56,346	181,612	△ 125,266	
1 特定資産運用益	56,346	181,612	△ 125,266	
特定資産受取利息等	56,346	181,612	△ 125,266	
③事業収益	1,456,838,037	1,997,368,944	△ 540,530,907	
1 自主・共催事業収益	465,597,248	627,364,081	△ 161,766,833	
入場料収益	48,062,420	156,212,530	△ 108,150,110	
参加料収益	1,038,500	2,376,700	△ 1,338,200	
友の会会費	10,541,750	54,263,200	△ 43,721,450	
京響コース会費	1,126,000	2,913,000	△ 1,787,000	
広告料収益	19,502,427	29,076,718	△ 9,574,291	
共催事業収益	229,234,994	233,067,597	△ 3,832,603	
助成金収益	152,143,652	146,601,152	5,542,500	
物品販売等収益	1,371,939	2,318,442	△ 946,503	
著作隣接権等収益	2,575,566	534,742	2,040,824	
2 事業受託収益	58,771,772	123,192,067	△ 64,420,295	
事業受託収益	58,771,772	123,192,067	△ 64,420,295	
3 管理受託収益	676,851,041	635,833,329	41,017,712	
管理受託収益	676,851,041	635,833,329	41,017,712	
4 利用料収益	227,066,213	569,621,065	△ 342,554,852	
ホール利用料金収益	214,329,573	541,320,915	△ 326,991,342	
駐車場利用料金収益	12,736,640	28,300,150	△ 15,563,510	
5 その他事業収益	28,551,763	41,358,402	△ 12,806,639	
企画・演出手数料等収益	3,426,222	8,001,978	△ 4,575,756	
賑わい事業収益	19,800,000	21,214,628	△ 1,414,628	
プレカイト事務手数料収益	5,325,541	12,141,796	△ 6,816,255	
④受取補助金等	772,098,431	715,809,421	56,289,010	
1 受取地方公共団体補助金	772,098,431	715,809,421	56,289,010	
京都市補助金	772,098,431	715,809,421	56,289,010	
⑤受取寄付金	19,077,850	7,100,000	11,977,850	
1 受取寄付金	19,077,850	7,100,000	11,977,850	
寄付金収益	19,077,850	7,100,000	11,977,850	
⑥雑収益	321,477,360	28,871,975	292,605,385	
1 雑収益	321,477,360	28,871,975	292,605,385	
受取利息等	359	50	309	
管理手数料等収益	3,402,692	13,534,818	△ 10,132,126	
雑収益	318,074,309	15,337,107	302,737,202	
経常収益合計	2,569,903,024	2,749,334,616	△ 179,431,592	

令和 2 年度正味財産増減計算書

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2)経常費用				
①事業費	2,557,483,585	2,802,888,721	△ 245,405,136	
役員報酬	3,176,531	3,921,795	△ 745,264	
給料手当	1,033,809,741	1,043,662,041	△ 9,852,300	
賞与引当金繰入額	40,435,960	37,313,121	3,122,839	
退職給付費用	19,052,167	14,743,477	4,308,690	
臨時雇賃金	41,863,005	44,087,433	△ 2,224,428	
福利厚生費	182,609,858	178,214,152	4,395,706	
会議費	980	852	128	
旅費交通費	12,677,544	34,718,308	△ 22,040,764	
通信運搬費	18,510,308	20,480,215	△ 1,969,907	
減価償却費	15,062,243	13,616,654	1,445,589	
消耗什器備品費	2,514,600	1,036,854	1,477,746	
消耗品費	54,525,781	35,322,182	19,203,599	
商品費	390,506	538,924	△ 148,418	
修繕費	28,466,245	25,935,486	2,530,759	
印刷製本費	31,015,091	39,226,279	△ 8,211,188	
広告宣伝費	17,483,249	34,359,261	△ 16,876,012	
光熱水料費	121,470,857	168,212,935	△ 46,742,078	
賃借料	55,449,597	59,814,137	△ 4,364,540	
保険料	1,961,864	1,907,141	54,723	
諸謝金	2,999,313	3,455,125	△ 455,812	
租税公課	46,805,260	47,816,504	△ 1,011,244	
支払負担金	760,870	2,628,423	△ 1,867,553	
チケット購入額	10,224	24,908	△ 14,684	
支援事業助成金	0	100,000	△ 100,000	
委託費	815,953,181	980,596,404	△ 164,643,223	
支払手数料等	8,744,016	6,510,641	2,233,375	
雑費	1,734,594	4,645,469	△ 2,910,875	
②管理費	26,800,519	25,259,091	1,541,428	
役員報酬	2,812,208	3,224,200	△ 411,992	
給料手当	13,054,178	12,278,149	776,029	
賞与引当金繰入額	1,535,182	1,404,124	131,058	
退職給付費用	1,173,795	533,674	640,121	
福利厚生費	3,814,054	3,342,004	472,050	
会議費	1,215	131,083	△ 129,868	
旅費交通費	241,270	253,770	△ 12,500	
通信運搬費	171,551	64,407	107,144	
減価償却費	354,553	66,159	288,394	
消耗什器備品費	0	97,200	△ 97,200	
消耗品費	519,043	290,307	228,736	
修繕費	0	10,450	△ 10,450	
印刷製本費	78,650	0	78,650	

令和2年度正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
諸謝金	447,334	556,489	△ 109,155	
租税公課	1,728,720	1,746,574	△ 17,854	
支払負担金	213,800	248,540	△ 34,740	
委託費	640,421	967,069	△ 326,648	
接遇交際費	0	20,000	△ 20,000	
支払手数料等	14,545	24,892	△ 10,347	
経常費用合計	2,584,284,104	2,828,147,812	△ 243,863,708	
当期経常増減額	△ 14,381,080	△ 78,813,196	64,432,116	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	49,600,000	0	49,600,000	
① 固定資産受贈益				
1 固定資産受贈益				
什器備品受贈益	49,600,000	0	49,600,000	
固定資産受贈益計	49,600,000	0	49,600,000	
② 固定資産売却益				
1 固定資産売却益				
什器備品売却益	1,210,000	0	1,210,000	
固定資産受贈益計	1,210,000	0	1,210,000	
経常外収益計	50,810,000	0	50,810,000	
(2) 経常外費用	39	0	39	
① 固定資産除却損				
1 固定資産除却損				
什器備品除却損	39	0	39	
固定資産除却損計	39	0	39	
経常外費用計	39	0	39	
当期経常外増減額	50,809,961	0	50,809,961	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	6,428,881	△ 78,813,196	85,242,077	
法人税、住民税及び事業税	320,000	320,000	0	
当期一般正味財産増減額	6,108,881	△ 79,133,196	85,242,077	
一般正味財産期首残高	595,772,985	674,906,181	△ 79,133,196	
一般正味財産期末残高	601,881,866	595,772,985	6,108,881	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	30,000,000	0	30,000,000	
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0	
指定正味財産期末残高	85,000,000	55,000,000	30,000,000	
III 正味財産期末残高	686,881,866	650,772,985	36,108,881	

令和2年度正味財産増減計算書 内訳書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ホークストリによる 文化芸術事業					
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
1 基本財産運用益	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
基本財産受取利息等	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
② 特定資産運用益	56,346	0	56,346	0	0	0	56,346
1 特定資産運用益	56,346	0	56,346	0	0	0	56,346
特定資産受取利息等	56,346	0	56,346	0	0	0	56,346
③ 事業収益	1,100,191,444	208,088,286	1,308,279,730	281,052,234	26,800,519	△ 159,294,446	1,456,838,037
1 自主・共催事業収益	326,500,249	148,846,260	475,346,509	1,399,434	0	△ 11,148,695	465,597,248
入場料収益	30,713,840	17,348,580	48,062,420	0	0	0	48,062,420
参加料収益	533,500	505,000	1,038,500	0	0	0	1,038,500
友の会会費	2,071,000	8,470,750	10,541,750	0	0	0	10,541,750
京響コース会費	0	1,126,000	1,126,000	0	0	0	1,126,000
広告料収益	15,352,427	4,150,000	19,502,427	0	0	0	19,502,427
共催事業収益	212,181,830	28,174,364	240,356,194	0	0	△ 11,121,200	229,234,994
助成金収益	65,647,652	86,496,000	152,143,652	0	0	0	152,143,652
物品販売等収益	0	0	0	1,399,434	0	△ 27,495	1,371,939
著作隣接権等収益	0	2,575,566	2,575,566	0	0	0	2,575,566
2 事業受託収益	30,738,028	59,242,026	89,980,054	6,024,401	0	△ 37,232,683	58,771,772
事業受託収益	30,738,028	59,242,026	89,980,054	6,024,401	0	△ 37,232,683	58,771,772
3 管理受託収益	503,674,102	0	503,674,102	146,376,420	26,800,519	0	676,851,041
管理受託収益	503,674,102	0	503,674,102	146,376,420	26,800,519	0	676,851,041
4 利用料収益	239,279,065	0	239,279,065	89,599,153	0	△ 101,812,005	227,066,213
ホール利用料金収益	239,279,065	0	239,279,065	76,862,513	0	△ 101,812,005	214,329,573
駐車場利用料金収益	0	0	0	12,736,640	0	0	12,736,640
5 その他事業収益	0	0	0	37,652,826	0	△ 9,101,063	28,551,763
企画・演出手数料等収益	0	0	0	5,795,017	0	△ 2,368,795	3,426,222
賑わい事業収益	0	0	0	19,800,000	0	0	19,800,000
プレイガイド事務手数料収益	0	0	0	12,057,809	0	△ 6,732,268	5,325,541
④ 受取補助金等	0	766,461,251	766,461,251	5,637,180	0	0	772,098,431
1 受取地方公共団体補助金	0	766,461,251	766,461,251	5,637,180	0	0	772,098,431
京都市補助金	0	766,461,251	766,461,251	5,637,180	0	0	772,098,431
⑤ 受取寄付金	7,454,000	11,623,850	19,077,850	0	0	0	19,077,850
1 受取寄付金	7,454,000	11,623,850	19,077,850	0	0	0	19,077,850
寄付金収益	7,454,000	11,623,850	19,077,850	0	0	0	19,077,850
⑥ 雑収益	215,119,362	13,677,297	228,796,659	92,680,701	0	0	321,477,360
1 雑収益	215,119,362	13,677,297	228,796,659	92,680,701	0	0	321,477,360
受取利息等	62	297	359	0	0	0	359
管理手数料等収益	0	0	0	3,402,692	0	0	3,402,692
雑収益	215,119,300	13,677,000	228,796,300	89,278,009	0	0	318,074,309
経常収益合計	1,323,176,152	999,850,684	2,323,026,836	379,370,115	26,800,519	△ 159,294,446	2,569,903,024

令和2年度正味財産増減計算書 内訳書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ホケステラによる 文化芸術事業					
(2)経常費用							
①事業費	1,325,485,084	1,011,551,436	2,337,036,520	379,741,511	0	△ 159,294,446	2,557,483,585
役員報酬	1,815,161	1,134,475	2,949,636	226,895	0	0	3,176,531
給料手当	301,131,994	613,953,281	915,085,275	118,724,466	0	0	1,033,809,741
賞与引当金繰入額	24,860,838	6,314,672	31,175,510	9,260,450	0	0	40,435,960
退職給付費用	14,249,091	871,696	15,120,787	3,931,380	0	0	19,052,167
臨時雇賃金	10,830,208	3,872,044	14,702,252	27,160,753	0	0	41,863,005
福利厚生費	54,761,718	104,493,742	159,255,460	23,354,398	0	0	182,609,858
会議費	980	0	980	0	0	0	980
旅費交通費	7,555,474	5,082,339	12,637,813	39,731	0	0	12,677,544
通信運搬費	7,768,871	10,056,259	17,825,130	685,178	0	0	18,510,308
減価償却費	7,116,098	6,471,469	13,587,567	1,474,676	0	0	15,062,243
消耗什器備品費	1,760,457	263,340	2,023,797	490,803	0	0	2,514,600
消耗品費	31,206,556	12,556,272	43,762,828	10,762,953	0	0	54,525,781
商品費	0	0	0	390,506	0	0	390,506
見本費	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	19,455,663	2,690,023	22,145,686	6,320,559	0	0	28,466,245
印刷製本費	20,410,256	9,127,474	29,537,730	1,477,361	0	0	31,015,091
広告宣伝費	13,216,395	4,175,445	17,391,840	91,409	0	0	17,483,249
光熱水料費	91,192,493	4,968,259	96,160,752	25,310,105	0	0	121,470,857
賃借料	78,922,002	73,207,696	152,129,698	1,386,552	0	△ 98,066,653	55,449,597
保険料	783,084	1,031,414	1,814,498	147,366	0	0	1,961,864
諸謝金	782,739	1,663,941	2,446,680	552,633	0	0	2,999,313
租税公課	26,853,375	3,041,936	29,895,311	16,909,949	0	0	46,805,260
支払負担金	313,492	323,000	636,492	124,378	0	0	760,870
チケット購入額	10,224	0	10,224	0	0	0	10,224
支援事業助成金	3,772,847	0	3,772,847	0	0	△ 3,772,847	0
委託費	601,305,242	142,395,118	743,700,360	129,707,767	0	△ 57,454,946	815,953,181
支払手数料等	4,125,854	3,590,352	7,716,206	1,027,810	0	0	8,744,016
雑費	1,283,972	267,189	1,551,161	183,433	0	0	1,734,594
②管理費	0	0	0	0	26,800,519	0	26,800,519
役員報酬	0	0	0	0	2,812,208	0	2,812,208
給料手当	0	0	0	0	13,054,178	0	13,054,178
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	1,535,182	0	1,535,182
退職給付費用	0	0	0	0	1,173,795	0	1,173,795
福利厚生費	0	0	0	0	3,814,054	0	3,814,054
会議費	0	0	0	0	1,215	0	1,215
旅費交通費	0	0	0	0	241,270	0	241,270
通信運搬費	0	0	0	0	171,551	0	171,551
減価償却費	0	0	0	0	354,553	0	354,553
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	519,043	0	519,043
修繕費	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	78,650	0	78,650

令和2年度正味財産増減計算書 内訳書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ホケステラによる 文化芸術事業					
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	447,334	0	447,334
租税公課	0	0	0	0	1,728,720	0	1,728,720
支払負担金	0	0	0	0	213,800	0	213,800
委託費	0	0	0	0	640,421	0	640,421
接遇交際費	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料等	0	0	0	0	14,545	0	14,545
経常費用合計	1,325,485,084	1,011,551,436	2,337,036,520	379,741,511	26,800,519	△ 159,294,446	2,584,284,104
当期経常増減額	△ 2,308,932	△ 11,700,752	△ 14,009,684	△ 371,396	0	0	△ 14,381,080
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
① 固定資産受贈益							
1 固定資産受贈益							
什器備品受贈益	0	49,600,000	49,600,000	0	0	0	49,600,000
固定資産受贈益計	0	49,600,000	49,600,000	0	0	0	49,600,000
② 固定資産売却益							
1 固定資産売却益							
什器備品売却益	0	0	0	1,210,000	0	0	1,210,000
固定資産受贈益計	0	0	0	1,210,000	0	0	1,210,000
経常外収益計	0	49,600,000	49,600,000	1,210,000	0	0	50,810,000
(2) 経常外費用							
① 固定資産除却損							
1 固定資産除却損							
什器備品除却損	0	0	0	39	0	0	39
固定資産除却損計	0	0	0	39	0	0	39
経常外費用計	0	0	0	39	0	0	39
当期経常外増減額	0	49,600,000	49,600,000	1,209,961	0	0	50,809,961
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,308,932	7,899,248	5,590,316	838,565	0	0	6,428,881
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	320,000	0	0	320,000
当期一般正味財産増減額	△ 2,308,932	7,899,248	5,590,316	518,565	0	0	6,108,881
一般正味財産期首残高			594,747,034	1,025,951	0	0	595,772,985
一般正味財産期末残高			600,337,350	1,544,516	0	0	601,881,866
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額		30,000,000	30,000,000	0	0	0	30,000,000
指定正味財産期首残高			55,000,000	0	0	0	55,000,000
指定正味財産期末残高			85,000,000	0	0	0	85,000,000
III 正味財産期末残高			685,337,350	1,544,516	0	0	686,881,866

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…購入時の取得価額による。なお償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
当財団会計規程第21条に従い、償却費の計算は定率法により行っており、勘定記入の方法は直接法により行っている。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を引き当てている。
退職給付引当金…職員の退職金の支払に備えるため、財団の規程に基づき算出した要支給額の全額をて引き当てている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の取扱いについては、税込処理方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	56,920,000	0	0	56,920,000
管理運営引当資産	331,000,000	0	0	331,000,000
退職給付引当資産	174,317,479	17,519,611	15,015,148	176,821,942
特定費用準備資金	152,380,000	30,000,000	1,840,000	180,540,000
特定資産取得・改良資金	2,500,000	0	0	2,500,000
小 計	717,117,479	47,519,611	16,855,148	747,781,942
合 計	820,117,479	47,519,611	16,855,148	850,781,942

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
京都市債	100,000,000	(55,000,000)	(45,000,000)	-
普通預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	-
小 計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	(0)
特定資産				
記念事業引当資産	56,920,000	(0)	(56,920,000)	-
管理運営引当資産	331,000,000	(0)	(331,000,000)	-
退職給付引当資産	176,821,942	(0)	(0)	(176,821,942)
特定費用準備資金	180,540,000	(30,000,000)	(150,540,000)	-
特定資産取得・改良資金	2,500,000	(0)	(2,500,000)	-
小 計	747,781,942	(30,000,000)	(540,960,000)	(176,821,942)
合 計	850,781,942	(85,000,000)	(588,960,000)	(176,821,942)

4. 固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	206,389,218	130,590,244	75,798,974

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価並びに評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	
京都府公募債(平成28年第6回)	30,000,000	29,911,800	△ 88,200	退職給付引当資産
京都市債5年(平成29年度第2回)	50,000,000	50,010,000	10,000	管理運営引当資産
京都市債5年(平成30年度第2回)	50,000,000	50,035,000	35,000	管理運営引当資産
京都市債5年(令和元年度第2回)	50,000,000	49,985,000	△ 15,000	管理運営引当資産
京都市債20年(第18回)	100,000,000	97,630,000	△ 2,370,000	基本財産
合 計	280,000,000	277,571,800	△ 2,428,200	

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金				
京都市交響楽団事業負担金 交付者 京都市	0	772,098,431	742,098,431	30,000,000
受取補助金計	0	772,098,431	742,098,431	30,000,000
助成金				
舞台芸術創造活動活性化事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	78,537,000	78,537,000	0
芸術創造普及活動助成 (現代舞台芸術創造普及活動助成) 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	5,599,000	5,599,000	0
地域文化振興活動助成 (地域文化施設公演・展示活動助成) 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	6,000	6,000	0
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	31,581,652	31,581,652	0
音楽公演助成 交付者 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション	0	29,200,000	29,200,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 青山音楽財団	0	500,000	500,000	0
公演助成 交付者 特定非営利活動 法人映像産業振興機構	0	661,000	661,000	0
公演助成 交付者 一般財団法人 地域創造	0	5,259,000	5,259,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 日本室内楽振興財団	0	300,000	300,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 アフィニス文化財団	0	500,000	500,000	0
受取助成金計	0	152,143,652	152,143,652	0
合 計	0	924,242,083	894,242,083	30,000,000

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手許保管	運転資金として	4,068,056
	普通預金	<small>総務課、コンサートホール管理課、事業企画課、文化会館管理課</small>		
		京都銀行下鴨支店	〃	2,751,481
		三菱UFJ銀行京都支店	〃	2,979,288
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	66,722
		京都信用金庫北山支店	〃	556,218
		滋賀銀行北大路支店	〃	19,910
		三井住友信託銀行京都支店	〃	20,100
		三井住友銀行京都支店	〃	17,292
		ゆうちょ銀行京都北山郵便局	〃	5,101,745
		京都市交響楽団		
		京都銀行下鴨支店	〃	91,449,948
		三菱UFJ銀行京都支店	〃	321,066
		三井住友銀行京都支店	〃	13,800
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	365,989
		京都信用金庫北山支店	〃	1,638,954
		ロームシアター京都		
		京都銀行京都市役所前支店	〃	27,273,852
		京都市東部文化会館		
		京都銀行山科中央支店	〃	3,152,346
		京都市呉竹文化センター		
		京都銀行伏見支店	〃	6,199,044
		京都市西文化会館ウエスティ		
		京都銀行上桂支店	〃	4,128,468
		京都市北文化会館		
		京都銀行鞍馬口支店	〃	6,832,135
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	686,713
		京都市右京ふれあい文化会館		
		京都銀行太秦安井支店	〃	3,759,662
	郵便振替	コンサートホール管理課	〃	102,508
		京都市交響楽団	〃	865,640
		ロームシアター京都	〃	404,779
		京都市東部文化会館	〃	881,217
	京都市呉竹文化センター	〃	1,119,448	
	京都市西文化会館ウエスティ	〃	210,462	
	京都市北文化会館	〃	780,814	
	京都市右京ふれあい文化会館	〃	8,563	
		<現金預金計>	165,776,220	
未収金	総務課	指定管理料等	95,810,163	
	<small>コンサートホール管理課、事業企画課、文化会館管理課</small>	ホール利用料金等	26,956,319	
	京都市交響楽団	公演料、助成金等	79,549,176	
	ロームシアター京都	ホール利用料金等	121,654,810	
	京都市東部文化会館	〃	69,570	
	京都市呉竹文化センター	〃	299,360	
	京都市西文化会館ウエスティ	〃	145,140	
	京都市右京ふれあい文化会館	〃	3,770	
		<未収金計>	324,488,308	
貯蔵品	コンサートホール管理課	販売用商品	1,025,873	
	京都市交響楽団	〃	1,527,854	
	ロームシアター京都	照明用ボリカー	2,035,538	
	京都市東部文化会館	〃	559,416	
	京都市呉竹文化センター	〃	580,099	
	京都市西文化会館ウエスティ	〃	1,039,716	
	京都市北文化会館	〃	456,209	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	総務課	人件費等	68,385,201
		コンサートホール管理課, 事業企画課, 文化会館管理課	公演経費, ホール運営経費等	49,520,443
		ロームシアター京都	〃	63,156,697
		京都市交響楽団	人件費, 公演経費等	116,189,367
		京都市東部文化会館	ホール運営経費等	1,780,598
		京都市呉竹文化センター	〃	1,812,479
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	263,871
		京都市北文化会館	〃	2,199,044
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	615,703
		<未払金計>		303,923,403
	未払法人税等	総務課	法人税等	320,000
			<未払法人税計>	320,000
	前受金	コンサートホール管理課, 事業企画課, 文化会館管理課	ホール利用料金等	35,373,960
		京都市交響楽団	友の会会費等	61,600
		ロームシアター京都	ホール利用料金等	96,064,000
		京都市東部文化会館	〃	2,178,180
		京都市呉竹文化センター	〃	4,439,515
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	2,931,860
		京都市北文化会館	〃	2,765,180
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,494,440
		<前受金計>		145,308,735
預り金	総務課	社会保険料等	6,705,265	
	コンサートホール管理課, 事業企画課, 文化会館管理課	チケット購入代金等	11,427,057	
	京都市交響楽団	〃	40,535,638	
	ロームシアター京都	公演料, 助成金等	9,296,900	
	京都市東部文化会館	舞台設備料等	973,902	
	京都市呉竹文化センター	〃	946,587	
	京都市西文化会館ウエスティ	〃	519,387	
	京都市北文化会館	〃	298,496	
	京都市右京ふれあい文化会館	〃	665,368	
	<預り金計>		71,368,600	
賞与引当金	職員	賞与引当金	41,971,142	
		<賞与引当金計>	41,971,142	
仮受金	コンサートホール管理課, 事業企画課, 文化会館管理課	誤入金	3,000	
	ロームシアター京都	〃	73,800	
		<仮受金計>	76,800	
流動負債合計				562,968,680
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	176,821,942
			<退職給付引当金計>	176,821,942
固定負債合計				176,821,942
負債合計				739,790,622
正味財産				686,881,866